

石川県健康の森 中期経営目標

(実施期間 令和5年度～令和9年度)

令和5年3月 策定

1 施設の設置目的

平成6年に開園し、園内には、総合交流センター、オートキャンプ場、バーベキュー舎、ソフトボール場などのレクリエーション施設、森林科学館やノトキリシマ園、ツバキ園などの展示施設があり、林内には遊歩道も十分に整備されていることから気軽に森林浴や自然観察なども楽しむことができます。

平成12年、拠点施設として整備された総合交流センターでは、園内の総合案内のほか、シイタケの植菌やそば打ちなどの体験教室、キノコや山野草の観察会なども企画、開催しています。

2 施設の果たすべき役割

「健康の森」は、能登半島の北岸に位置する輪島市三井町地区に位置し、標高200～300m丘陵地帯で、能登半島北部地域の玄関口となる地区に立地しており、能登地域における森林・自然観察、自然体験学習・教育等の拠点施設の一つとして、自然体感機能や自然学習・教育機能、レクリエーション機能等の複合的機能を持つ施設となっています。

森を基軸に人々が憩い、創造し、交流する地域づくりをめざそうとするものであり、具体的には、緑豊かな森林空間の創造やスポーツ・レクリエーション施設の充実、自然体験・ふるさと体験の場の創出を行うものであります。

3 事業内容

(1) 森林・緑地の保全と景観保持

森林の自然植生、人工林、天然林や下層植生等の既存植生を保全管理するとともに、公園緑地の景観の保持をします。

(2) 森林浴やレクリエーション活動施設の提供

遊歩道、広場等の森林浴やレクリエーションに適した施設を整備し、県民が気軽に森林の中で自然とふれあう機会を提供します。

(3) 野外教育活動施設の提供

野外で活動する機会が少なくなった子ども・青少年に対し、自然観察や体験学習施設を整備し野外学習の場を提供します。

(4) 交流活動の場の提供

公園内で開催されるイベントの参加などを通じた交流の場を提供します。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・健康の森では、民間のノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。
- ・公園利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、備品及び植栽等の維持管理及び修繕に関する業務などは指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である令和5年度から令和9年度までは、「能登森林組合」を指定管理者として新たに指定しています。
- ・県では、利用状況や利用者からのご意見、小修繕の実施状況などの管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、運営指導や財政支援を行うなど、適正な管理・運営に努めています。
- ・県は、指定管理者と調整し、老朽化した施設の更新・修繕などを実施しており、今後とも取り組みを充実させる必要があります。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・目視等による施設、整備、遊具等の巡回点検を行い、常に安全かつ良好な状態を保持し、異常を発見した場合は、速やかに適切な処置を行っていきます。
- ・芝生広場の管理、遊歩道の管理、林道等の管理などの維持管理について計画的かつ状況に応じて実施し、良好な環境づくりに努めていきます。
- ・指定管理者において、地域の自然、環境を利用し、魅力あるイベントを企画し実施します。
- ・健康の森で実施される各イベント等へ支援協力を行い、多くの方が利用できるよう努めていきます。
- ・広報活動として、ホームページ等を活用した情報発信を行っていきます。

(3) 施設運営の効率化について

- ・県と指定管理者間で連絡体制を確立し、常に情報を共有するなど、非常時にも即時対応できるよう連携を図り、迅速かつ効率的な運営を行っていきます。
- ・指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを公園利用者に提供するとともに、管理経費の削減に努めていきます。
- ・指定管理者では管理技術の更新を行います。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標

- ① 利用者数を5年間で4%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、95%以上にします。

(2) 測定指標と目標値

測定指標		基準値 (H29～R1 平均)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R9)
①利用者数		30,709人	31,400人	32,000人
②利用者アンケートによる満足度	利用者サービス	99.1%	95%以上	95%以上
	施設の維持・管理	98.0%	95%以上	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

①来園者に能登の自然を満喫してもらう公園づくり

- ・地元や他の市町村の団体等や各大学やNPO法人の団体と連携し研修や会議、イベント、合宿等を提案し利用増加を計画します。

②安全安心で快適な公園づくり

- ・幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校、大学と連携し、遠足やイベント等を提案し利用増加を計画します。
- ・組合木材加工所の技術を活用し、遊歩道の補修、木柵等の新設や補修を行います。

③情報システムの活用

- ・ホームページとSNSにより、天候に影響される施設営業情報や各種イベント情報等を提供し、来園者の利便性向上と来園の動機付け喚起に努めます。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

①研修等により、職員の業務の習熟度を高めます。

- ・専門技術を必要とする業務以外の職員でできることは積極的に行い、維持管理に必要な経費を削減するよう努めます。

②職員の役割分担を明確にし、効率化を図ります。

- ・職員各自が自覚を持って職務を行うことで、よりよい運営が行えるよう努めます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況)

(単位:人)

項目	H29	H30	R1	R2	R3
入園者数	29,942	29,115	33,070	16,830	10,833
計	29,942	29,115	33,070	16,830	10,833

(2)使用料の収入実績

(単位:千円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3
施設利用収入	6,616	6,777	6,668	4,824	2,183
計	6,616	6,777	6,668	4,824	2,183